

CUT

INTERNATIONAL INTERVIEW MAGAZINE
FEBRUARY 2019 ● rocki

祝・新作年内放送決定!

『水曜どうでしょう』 今、4人が語る22年



神木隆之介 / 賀来賢人 / 千葉雄大 / 鈴木拡樹

『水曜どうでしょう』今、4人が語る22年

鈴木貴之×大泉洋×藤村忠寿(チーフディレクター)×壇野雅道(ディレクター兼カメラマン)

「我々はこれからあてのない旅に出かけます」。

1996年、『水曜どうでしょう』第1回目の放送時に「ミスター」こと鈴木貴之が放った言葉である。それは、北海道テレビ(HTB)が生んだ深夜バラエティ番組『水曜どうでしょう』という伝説の始まりだった。企画と出演を兼任する鈴木貴之、出演者の大泉洋、チーフディレクターの藤村忠寿、ディレクター兼カメラマンの壇野雅道。この4人を中心に繰り広げられる「あてのない旅」に、私たちは夢中になった。映し出されるのは観光名所や名物の料理ではなく、道中で彼らが喧嘩するさまや疲労困憊の体たらく。その、人間ドラマを包み隠さずさらけ出し、笑いへと昇華する台本のない「ドキュメンタリー」は、どうしようもなく可笑しくて、同時にそこにはありのままを肯定する優しさがあつた。真を正に転換するタフネスがあつた。その単なる「笑い」を超えたポジティブティにこそ、多くの視聴者を虜にする最大の魔力があつたのだと思う。この風変わりな番組は次第に高視聴率をたたき出すようになり、放送開始から3年が経つ頃には、ローカル番組としては異例となる道外での放送が始まった。瞬く間にその人気は全国区となり、次々と名作を世に送り出して快進撃を続けた。

しかし、画面の向こう側で、彼らの胸の中には渦巻く想いがあつた。2002年、「一生どうでしょうします」という宣言のもと、レギュラー放送の幕を閉じた。以降は不定期で新作を放送しているが、現在もおお、4人が起こした革命の炎は消えることなく、全国のファンから熱狂的な支持を集め続けている。

次なる新作が待ち望まれる中、ついに今年、2013年以來となる新作が放送されるという報を聞き、CUTはそれを祝して22年にわたる『水曜どうでしょう』の歴史を総括する特集を組みたいと思つた。今日までの歩みを4人に振り返ってもらつた貴重な座談会や、札幌で撮り下ろした4人の関係性が読み出るフォト、番組で生まれた名言を検証するコラムから、『水曜どうでしょう』がこんなにも私たちを魅了し続けた理由と、4人が紡いできた物語の重みを感じてもらえたら嬉しい。

そして、新作が放送されるタイミングでCUTは再び特集を組み、今度は新作について4人からじっくりと話を聞きたいと思つている。あの日から「一生続く」「あてのない旅」を、まだまだ追いかけていきたい。(小林奈美子)











